



学校だより

横浜市立六つ川台小学校

平成29年1月31日

2月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

夢がある、希望がある

学校長 柳澤 潤

「学生さんが寒げいこを頑張っているから、私たちも頑張らないと」と、横断歩道での安全・見守り活動をしてくださっている地域の方から、声掛けをされました。校庭では、ラグビー（特設クラブ）の早朝練習が続いています。まさに、寒げいこです。2月4日には、横浜スタジアムでの「横浜市立小学校ラグビー交流会」があります。大きな会場で、他校の子どもたちを相手に、存分に力を発揮してほしいと願っています。

さて、1月26日に『第2回「まち」とともに歩む学校づくり懇話会』が行われました。懇話会はいつも、給食を召し上がっていただきながら、1時間半ほどのランチミーティングになります。

冒頭、懇話会会長は、「学校生活は、無事、安全、安心であることが何よりも大事」と、話されました。続いて、「教育には、夢が大事だ」、そして、「なぜ夢をもたねばならないかを考えたい」として、メモに書かれた次のような言葉を紹介してくださいました。（流通評論家だった吉田貞雄氏の言葉）

夢のある者には、希望がある
希望のある者には、目標がある
目標のある者には、計画がある
計画のある者には、行動がある
行動のある者には、実績がある
実績のある者には、反省がある
反省のある者には、進歩がある
進歩のある者には、夢がある

一言一言、かみしめるように伝えてくださった後、台小の卒業生に思いをはせて、「様々な舞台での活躍を夢見ている。箱根駅伝で、（台小のすぐ近くの）権太坂を走る卒業生を応援することもあるのでは、と楽しみにしている」とも話してくださいました。

学校からは、まず、いじめ防止の方針について、お話をさせていただきました。「いじめ」のとらえ方や、校内での職員研修について報告をしました。来年は、はまっ子のチーフや、スタッフの皆さんを交えて、拡大で研修会をもちたいことを提案しました。子どもを取り巻く小さな変化やトラブルをきちんと受け止めて、丁寧に誠実に対応することが求められています。関係機関とも連携を密にして、チームでいじめ防止に取り組んでいくことを確認しました。

次に、保護者・子ども・教職員アンケートの結果や、行事に対する保護者アンケートの結果を報告しました。（3月の学校説明会でも報告します。）そのほか、話題になったことをまとめます。

- ・差別の意識は、親や大人から伝わっていくことが多いのではないかと。親が家庭で、人の悪口を言っていると、子どもは、人の悪口を言ってもいいのだと学習してしまう。
- ・携帯電話の危険を理解しないで利用している人が多い。道具というのは、理解しながら使うものだ。携帯やネットの研修は、毎年継続して学校でやったほうがよい。保護者の知識が薄いと思う。
- ・優しさが大事だと口で言っても、身につかない。学校では、生き物を育てる中で、学んでほしいと思う。命に感謝すること、食べ物に感謝することを大事にしたい。
- ・驚くほど、（大人以上の）力を発揮する子どもの姿を見たことがある。子どもの能力は、無限。子どもの数だけ未来がある。希望がある。

懇話会では、俯瞰（ふかん）した見方や、違った視点をいただくことが多く、励ましをいただき、温かな気持ちになります。あらためて、教育に携わることの重みと、夢と希望を感じています。

2月、3月と、学校は卒業に向けて動いていきます。夢と希望に満ちた進級と卒業を迎えられるよう、充実した取り組みを進めていきます。今月も、どうぞよろしくお祈りします。